



2025 年 10 月 3 日

各 位

上 場 会 社 名 株式会社 瑞光
代 表 者 代表取締役社長 梅林 豊志
(コード：6279 東証プライム市場)
問 合 せ 先 責 任 者 取締役管理部門管掌 奥野 文彦
(TEL. 072-648-2215)

剰余金の配当及び配当予想の修正に関するお知らせ

当社は、本日開催の取締役会において、下記のとおり 2025 年 8 月 20 日を基準日とする剰余金の配当（中間配当）を行うことを決議いたしました。また、期末配当予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 配当の内容

	決定額 (2026 年 2 月期中間配当)	直近の配当予想 (2025 年 4 月 4 日公表)	前期実績 (2025 年 2 月期中間配当)
基準日	2025 年 8 月 20 日	同左	2024 年 8 月 20 日
1 株当たり配当金	6 円 00 銭	8 円 00 銭	5 円 00 銭
配当金の総額	158 百万円	—	132 百万円
効力発生日	2025 年 11 月 4 日	—	2024 年 11 月 1 日
配当原資	利益剰余金	—	利益剰余金

2. 期末配当予想の修正の内容

	1 株当たりの配当金		
基準日	第 2 四半期末	期末	合計
前回予想	8 円 00 銭	8 円 00 銭	16 円 00 銭
今回予想		6 円 00 銭	12 円 00 銭
当期実績	6 円 00 銭		
前期実績 (2025 年 2 月期)	5 円 00 銭	5 円 00 銭	10 円 00 銭

3. 修正する理由

- (1) 当社は、持続的な成長と中長期的な企業価値向上の実現に加え、株主の皆様に対する利益還元を経営上の重要施策と位置付けており、剰余金の配当については、連結配当性向30%以上を最低限の目標にしております。
- (2) 2025年4月4日に発表しました第4次中期経営計画期間（以下略:中計）の中で、2026年2月期～2028年2月期の3ヶ年累計のキャッシュ・アロケーションについては、手元資金だけでなく、積極的に有利子負債を活用し、下記①～③の通り、特に「成長投資」「配当」に重点的に配分する計画としておりました。
 - ① 新規事業(含むM&A)や研究開発を主体とした「成長投資」で約50～70億円

- ② 設備やDX投資を主体とした「既存事業投資」で約30億円
 - ③ 「配当」による株主還元で約20億円（同配当性向50%）
- (3) 一方、プレスリリース※で発表しております通り、新規事業が順調に推移しておりますが、今後
も機会を逃すことなく、M&Aを含めた「成長投資」に一層注力する所存であります。

※プレスリリースで発表している新規事業

- ①ユニチカからコットンスパンレース不織布事業を譲受(2025年9月12日付リリース)
 - ②産業用防護カバーオール向け自動製造設備事業の進展(2025年9月24日付リリース)
 - ③自動排泄処理装置の製造合弁会社の設立(2025年9月24日付リリース)
 - ④瑞光上海メディカルによる医療用品・衛生用品等の販売(2025年9月24日付リリース)
- (4) 就きましては、「配当」で予定している20億円の一部を「成長投資」に振り向けたいと考えており、2026年2月期年間配当予想額につきましては、公表分の16円から4円減額の1株当たり12円、また、中間配当額につきましては、1株当たり年間配当予想額12円の50%の6円といたします。
- (5) 積極的な「成長投資」への資金投入が将来の剰余金を生む原動力となり、結果的に配当額の増加に寄与するものと考えておりますので、株主の皆様には何卒ご理解とご協力をお願い申し上げます。

以 上